行政書士による

無料相談会

高齢や病気が原因で、身の周りのことや財産のことなどの判断が
適切に行えなくなることがあります。
自分自身の、そして大切なご家族の将来に備えるため、
気になる“こと”を相談してみませんか！

～成年後見 ・ 遺言 ・ 相続等～

＜開催日時および場所＞

○ 令和７年３月25日(火)

箱根町役場本庁舎４階第１～第３会議室

時間は 14:00～16:00 **（最終受付は 15:30）**

※ ご相談は事前予約をお願いしております。

お問い合わせ･事前予約は･･･

箱根町地域包括支援センター 85－3002まで

箱根町地域包括支援センター

一般社団法人コスモス成年後見サポートセンター神奈川県支部小田原西地区

行政書士による無料相談会では…

～成年後見制度～

自分自身で判断することが難しい方について、家庭裁判所によって選ばれた成年後見人等が、財産の管理や福祉サービス等の契約を行い、ご本人の権利を守り生活を支援してくれる制度です。無料相談会では成年後見利用までの流れや家庭裁判所の申し立てに必要な書類や手続きについての相談ができます。

～遺言・相続～

自分の遺産をどのように使い、子孫たちにどうやって分配するかなど、将来争いが無いように不備なく遺言を作るための相談ができます。

～その他～

行政書士は『街の法律家』として官公署（役所・役場）・契約書等の書類作成や一般法律相談など、身近な書類手続きについてもいろいろな視点からアドバイスを行ってくれます。

まずは下記までお問い合わせ・ご予約下さい

箱根町地域包括支援センター　８５－３００２

誰でも気軽にどうぞ(*^^*)！

きんとき寄せ木サロン

サロンは地域の人たちの参加で作り上げる、みんなが気軽に集まれる場所です。
あなたも参加して一緒にサロンを楽しい会にしませんか？
参加者募集中です！誰でもお気軽にお越しください♪

日　時：令和７年３月25日（火）14時～16時

場　所：仙石原いこいの家

内　容：ラジオ体操、お楽しみ会

参加費：お茶菓子代として一人100円

※　タオル・飲み物持参（コロナ対策のため）

【お問い合わせ】

伊東元子（86－3766）または

高橋重子（84－6066）

みんなで 楽しむ！

芦ノ湖サロン

芦ノ湖サロンは地域の人たちの参加で作り上げる、みんなが気軽に集まれる場所です。あなたも参加して一緒に芦ノ湖サロンを楽しい会にしませんか？

気軽に集まれる場所が近所にあるっていいですよね。

日　時：令和７年３月19日（水）　11：00～

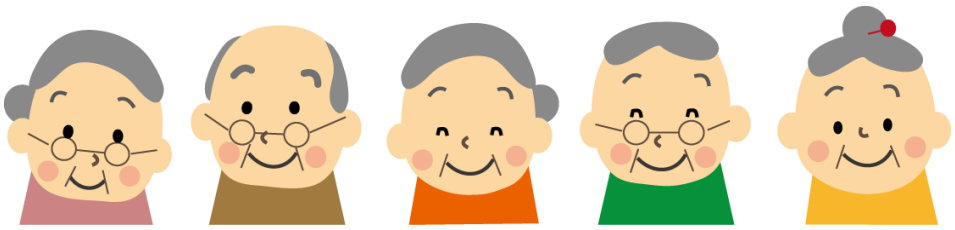
場　所：元箱根集会所集合

内　容：みんなでちらし寿司他

　　お楽しみを食べましょう！！

参加費：お茶代として一人100円

（内容により変更するときがあります）



お問い合わせ：箱根町社会福祉協議会　担当：北村

電話番号　→　85－9000

令和７年度
ボランティアいちから講座

地域ボランティアを始めるきっかけとして、
自分の「できる」を見つけてみませんか？

〖１日目〗　車いすで挑戦を続ける

日　　時：４月２５日（金）
　　１８：３０～２０：００
講　　師：高野　裕基　氏
主な活動：湘南スポーツクラブに所属し、
　　車いすバスケットボール選手
　　として活躍中。

〖２日目〗　ボランティア活動の魅力

日　　時：５月９日（金）
　　１８：３０～２０：００
講　　師：池谷　裕次　氏
主な活動：温泉旅館みたけを営むほか
　　小学校教諭の経験を活かし、
　　箱根町を中心に活躍中。

会　　場：おだわら市民交流センター
　　ＵＭＥＣＯ会議室５・６（２日間共通）

対　　象：福祉ボランティアに興味のある方
　　※　各日１５名（先着）
申込み先：箱根町社会福祉協議会（0460-85-9000）
　　３月１０日（月）よりWEB・電話・FAXにて受付
主　　催：箱根町社会福祉協議会・小田原市社会福祉協議会

～　チラシ裏面もご覧ください　～

ＦＡＸ：０４６０－８５－６８８８

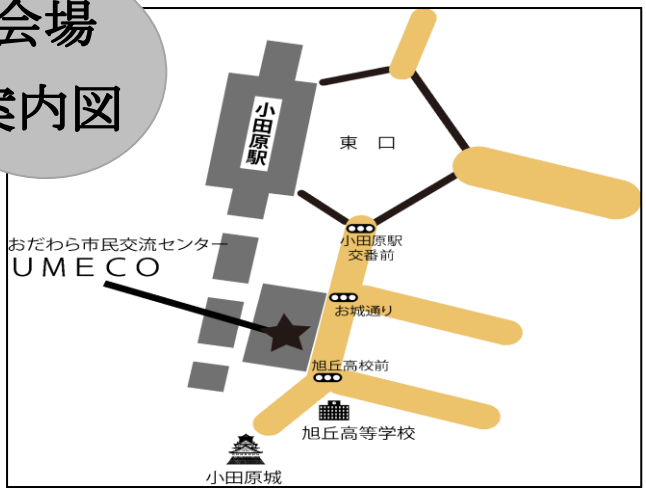
箱根町社会福祉協議会　行き

ボランティアいちから講座　参加申込書

ふりがな お　名　前	
ご　住　所	〒
電 話 番 号	
参加希望日	①　１日目　４月 25 日（金） ②　２日目　５月９日（金） ※　参加を希望する日に〇を付けてください。

申込みは WEB からもできます！
こ ち ら か ら ア ク セ ス →

会場案内図



●小田原駅から徒歩３分

●おだわら市民センターＵＭＥＣＯの駐車場／駐輪場は、有料になりますので、予めご了承ください。

湯本幼児学園園だより

りずむ

令和７年２月１２日

◎箱根一貫教育の合言葉
『箱根を愛し　かしこく　やさしく　たくましく』
◎湯本幼児学園個性化目標
『異年齢保育を生かした園づくり』

立春が過ぎ、暦の上では春です。最強・最長の寒波が流れ込み、寒い日が続いていましたが、湯本は日が差してくると園庭は温かく、上着を脱ぎ、遊んでいる子どもも多いです。『子どもは風の子・元気な子』です。

4.5 歳児のドッジボールは、毎日とても面白いです。勝った！とこぶしを上げて喜ぶ一方、負けた！と悔し泣き…一人一人、それぞれのチームにドラマがあります。4 歳児対 5 歳児で対戦していた日が何日も続いたかと思えば、先生たちに挑んできて、その後は 4.5 歳混合チーム戦と子どもたちは日々いろいろ考え、競い合うことの面白さを味わっています。学年も終わりの時期を迎える頃になると子ども同士で育ちあう姿が見られます。

こびとづかんの世界

こびとづかんのお話を知っていますか？ 日常生活の中にいるかのようにリアルで、子どもたちは存在すると信じています。散歩に行っても「川に住んでいるのはコヒレカワコビト！オオヒレカワコビトっていうのもいてね～」原っぱでは「ここにはアマツボカグラがいるかもしれない！」と特徴や大きさまでもよく知っていて話が止まりません。

先生たちは、それを面白がり、時にはフィギュアを仕掛けたり、粘土や紙など用意してこびとを作れるコーナーを設けたりして、遊びが広がるようにしています。捕獲方法があるようで、仕掛けを作っている子どもも！現在、森や竹藪を作り、こびとの森を作っています。

そういえば、私も小学生の頃、コロボックルシリーズを好んで読んでいて、もしかしてこの世界にコロボックルがいるのではないかと想像して楽しんでいたことを思い出しました。それと同じ感覚なのか…空想の世界を存分に楽しんでいる姿を見て、わくわくしています！

子どもたちの作ったこびとたち

お正月遊び(1/26)

地域の方と社会福祉協議会の方とあわせて 17 名いらしてくださり、子どもたちとカルタやお手玉、福笑い、羽根つき、凧あげなど日本の伝統的な遊びました。こま回しやけん玉は子どもたちができることに感動され、「すごいな」「ひももまけちゃうの」と感心されていることが子どもにとってはとても誇らしげで自信となっていました。『できないことができた』達成感を味わったからこそ、今も続いています。

これは、ゲームでは味わえず、実体験から得られる感覚です。ご家庭でもぜひ楽しんでください！

お別れ遠足・伊勢原市こども科学館(2/7)

自分たちで計画してお別れ遠足に行ってきました！

園長から 8:30～15:00 までに帰ってこられるところならどこへでも行ってよいことを伝えました。園でも ICT 化が進み、コドモンが導入され、ipad が使えるようになりました。子ども達はインターネットを活用し、園長からの条件をもとにやりたいことや行きたい場所、時間などを何日かかけて練りに練って決めました。わくわくしてとても意欲的に話が進み、心が一つになっていることがわかりました。

そして、当日は嬉しくて嬉しくて…うきうきわくわく湯本駅を出発！少しし離れた場所の電話のやり取りを楽しむ子ども、ピタゴラスイッチのようなしかけを繰り返し楽しむ子ども、自転車をこいだり、回転したり、体を動かしたり動力のしかけを楽しむ子ども、パソコンを楽しむ子どもなど科学のおもしろさに触れ、大満足の一日でした。子どもの意欲からの達成感は成長につながっていることを実感します。と共に大人のようには効率よくはいかないけれど、『子どもを信じる』『子どもを信じて待つ』ことの意味を改めて感じました。

被災地・能登へ(2/5)

バザー前に≪チームいとへん≫さんに作っていただいたエプロンや巾着などの仕上げをしている時に、被災地への支援活動を行っている話を伺い、賛同しました。子どもたちは年末から折り紙でクローバーを 100 個折り、「きぼうのたね」と書いて仕上げ、いとへんさんが作ったひな人形の中に入れました。当日は、社会福祉協議会の井上さんが 12 月に能登に行った話をしてくださいました。自由に外で遊べない子どもがいること、家や家族を失った子どもがいること、グランドに仮設住宅があることなど真剣に聞く子どもたちでした。『自分たちができること』それがとても大きな力になることを知っていくことでしょう。後日、能登から届いた時の様子の写真が届くことになっています。

宮城野げんきっこ だより２月号

箱根教育合言葉
～箱根を愛し･かしこく･やさしく･たくましく～

令和７年２月20日

先日箱根の森小学校の6年生に登校の際、声をかけられました。いつもは私が車を駐車するとき、会釈なのにその時はエンジンを切るのを待っている6年生。慌てて車を降りると、「今日は楽しみな日なんです」「そうなの？何があるの？」「6年生を送る会！」と、おそ松さんのシェーポーズをしながらピースサインをくれたのでした。自分たちのために会を開いてくれる喜びを私に伝えたいと思ってくれた6年生に感激しました。自分の時は歌をプレゼントしたけれど、5年生は何をしてくれるのかとワクワクした気持ちも話してくれて…その嬉しそうな表情を見ているだけで、きっと温かい会なんだろうなと想像できました。相手に喜んでもらいたいという気持ちで会を進めていった経験から、自分の番が来た時に素直に喜びとして感じられることに改めて温かな経験の大事さに気づかされました。その日小学生に兄弟がいる園児の保護者にも聞いてみました。「自分の子が6年生ではないのに、あんな温かな会を見る事ができ感動です。今日も泣いちゃって。自分の時はどうなっちゃうの！」保護者の喜びは、子どもにも伝わります。一生懸命6年生を送る会を考えていた箱根の森小学校のみな様、地域にも温かな雰囲気が伝わってきました。ありがとうございます。4月からは年長児さくら組をどうぞよろしくお願いいたします！

☆お別れ散歩～彫刻の森美術館～3.4.5 歳児2月19日

3.4.5 歳児4グループに分かれて、彫刻の森美術館に行ってきました。事前にグループに地図を渡し、どのルートで回ろうかと年長児が説明しました。自分で考えたルートは紙を見なくても暗記している園児もいました。

当日だけでなく、この時期は活動に見通しをもって取組めるようになってきます。当日は2月の気候らしく気温は低かったですが、快晴で彫刻をみながらいろいろなルートを楽しみました。大人が考えるより回り道であったり(それが面白い！)、地図で確認したものより実際に行ったらこのルートの方がいいよねと臨機応変にグループの皆に了承を得て変更したりと成長を感じ、そんな年長児をみる年中、年少にとってもよい経験となりました。リニューアルオープンした足湯は景色がとてもよく子どもたちは「ずっと入っていたいくらい」との感想が。また幸せをよぶシンフォニー彫刻は工事のため行くことができないとわかると、「そんなときもあるよね」と友達同士で話したりする姿にも成長を感じました。言うまでもなく、ネットの森は大人気です。フワフワのクッションでとても気持ちよく体をいっぱい使って遊びきりました。

「せんせい、てのまわりみて！てがかいてあるみたい」
年中組の気づきです。水面に浮かんだ表面張力。どの水でも起こるのかと試していました。わくわくしますね～
不思議に思う気持ちが次の学びにつながり、とても大事ですね。

「ゆきだ～もっとふって～」嬉しくて思わず口を開けて雪を食べてみる子。「そうだ、サンタさんにこんどゆきをおねがいしてみよう」「それ、いいね、ぼくも！」という会話にほっこりしました。雪のパワーってすごい！

仙幼　すすきのこだより

箱根町立
仙石原幼児学園

R7.2.21

箱根教育合言葉　箱根を愛し　かしこく　やさしく　たくましく　　＜ある雪の日↑＞

暦の上では、春ですが、まだまだ寒い日が続いています。年長保護者が記念樹として秋に植樹したブルーベリーの木の芽が少しずつ膨らみ始め、今年の夏に収穫できるのが楽しみです。

年長児さくら組の子ども達は、「卒園式まであと何日。」「幼児学園に来られるのは、あと何回。」「ずっと幼児学園にいたい」という子がいたり、「ぼくははやく学校に行ってべんきょうしたい」「あたらしいランドセルかってもらった」と入学を楽しみにしている子もいます。期待と不安が入り交ざった気持ちは、どのクラスの子どもたちも一緒です。緊張と不安から落ち着けない子どもの姿やいつもより、喜怒哀楽が激しくなったりすることもあります。不安な気持ちを受け止め、進学、進級する4月が親子で楽しみになるような言葉がけをしていきましょう。また進学、進級で不安なことなどありましたら、いつでも話を聴きますので、職員室に声をかけてください。

仙小　図書委員会の読み聞かせ

毎年、仙石原小学校の図書委員会の５，６年生が年間を通して数回読み聞かせに来てくれます。４歳児ゆり組に２人。５歳児さくら組に２人。小学生が選んでくれた絵本を読んでくれて、子供たちも楽しみにしています。今年は、園で３回。そして最後に小学校の図書室に招待してくれて読み聞かせをしてくれました。

低学年の子どもたちを中心に小学生もたくさんいる中、5年生が二人。読み聞かせをしてくれました。読んでくれてる小学生も「緊張する。」って言いながらもしっかりと読んでいました。小学生は１回目の時よりも読み方が上手で、聞く側の年長児も集中して聞いていてとても静かな楽しい時間となりました。その後、図書室で好きな本を選んで読んで、帰ってきました。

絵本を読んでいた５年生も園児の頃、小学生の絵本を見ていた側で、今回聴いていた５歳児が高学年になって絵本の読み聞かせをしに来てくれる日が楽しみになりました。

＜読み聞かせ・筑紫さんと遊ぼう＞

食育体験

今年度も年長児が、町の栄養士さんの指導で、食育体験を次のように行いました。①そら豆の皮むき体験②とうもろこし、えだまめ下処理体験③お米とぎ体験・鮭の解体を見る④災害時の食事体験⑤本物のだしの味（鰹節削り体験）です。２月は④⑤の体験を行いました。災害時の食事体験は炊飯器ではなく、鍋に水をはりゆでて作ることを学びました。鰹節の削り体験では、初めて鰹節を見た子どもも多く、不思議そうに触り、においをかいで「いいにおい」「魚のにおいがする」と話す姿があり、鰹節を削るときは、カンナの刃を使用しているから危険という話を聞いたので、緊張しながら栄養士の先生達とゆっくり真剣に削る姿がありました。削りたての鰹節でだしを取ったお味噌汁の味は格別でした。その他にも、今年は、野菜を育てそれを給食で調理して出してもらったり、いろいろな食材に触れたり、食べることの楽しさを感じられる１年でした。家庭でも食べることが楽しくなる工夫（野菜を育てる、メニューを考える。一緒に買い物、一緒に調理など）の体験をしてみてください。そして一日１回は家族そろって一緒に食べる時間を作ってそのひとときが楽しい時間になることが大切です。

お知らせ・お願い

・令和６年度卒園式について

日時　　令和７年３月24日（月）10時～

場所　　仙石原幼児学園　ホール

その他　保護者２名までの席を用意します。

・研修会のお知らせ＆お願い

箱根町の幼稚園・保育園・幼児学園の全職員の研修会を24日の15時半～行います。

そのため、３月24日（月）は全園児15時帰りとなります。よろしくお願いいたします。

R7．2．21

箱根幼稚園だよりすまいる

園小中箱根教育合言葉「箱根を愛し、かしこく、やさしく、たくましく」

立春が過ぎましたが、寒さはいつまで続くのでしょうか？毎朝通勤時に芦の湯の温度計を見て「マイナス」の表示に思わず車の温度を上げることがしばしばありました。一方では、園の周りの杉の木の色が変わりはじめ花粉が膨らみ始めているようです。少しずつですが季節は変わろうとしているようです。

今年の節分は地球の公転周期のずれと暦のずれで２月２日(日)でした。あいにくの雪でしたが、園児や保護者の方と一緒に箱根神社の節分祭に参加しました。女性会の方が用意してくださったワカサギのフライで追儺式の始まりを待ちながら、鬼への想像を膨らませていました。雪の影響で参加する人が少ないのではと思っていましたが、厄払いをする方は例年通り？それともそれ以上なのか？大勢おいでになり、子ども達は鞄いっぱいに福豆を拾い帰ってきました。帰る途中は、風が冷たく小さな子ども達は寒さで大変でした。その分、お昼のにゅう麺と恵方巻は格別だったと思います。今年も箱根幼稚園の職員が山姥をやらせていただきました。きっと箱根幼稚園にとって今年もいい年になりそうです。ご協力いただいた皆様、ありがとうございました。

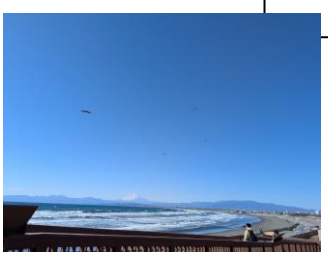
１月の終わりに、宮城野保育園の園児と箱根幼稚園の４．５歳児で新江ノ島水族館に出かけました。今年１年間月２回程度の交流を重ねてきたので、ペアになった友達と楽しそうに見学することができたことは、何より嬉しいことでした。水槽に顔を近づけて魚の動きを追ったり、陰に隠れているうつぼの姿にぎょっとしたりクラゲのコーナーでは、「泳ぎ方が優雅だね。」と宮城野保育園の友達との会話が聞こえてきました。「これは何？」初めてみる海の生き物について飼育員の方に自分から積極的に聞く姿もありました。

そして私は久しぶりに見たイルカショーにびっくり！以前は、ダイナミックにイルカがジャンプをし、大きな輪をくぐり、トリーターを背中に乗せて潜るなど華やかなショーが見られましたが、今回は違うものでした。餌をもらえるからやるのではなく、あくまでもトリーターとの信頼関係、その日のイルカの体調や気分に合わせて内容を変えていくという話があり華やかさは感じられませんでしたが、生き物への愛情は伝わりました。この背景には動物福祉の観点からイルカショーを禁止する動きが海外で広がっていることにあるのかと思います。イルカの自発性をどうショーにつなげるかはトレーターの腕の見せ所でしょうか？保育の考えと似ていると感じて帰ってきました。今の保育は、一斉に先生から教えてもらったことを教えてもらった通りにする、私が育ってきた時代とは違い、子どもが主体的に、もの・こと・ひとと関わりその中で探究していくことが望まれています。どのようなことに興味を持ち、どう考え、伝え合い、得た知識を生活や遊びにいかしていくか。その中で生涯に必要な力を育むことが求められています。保育者の専門性や感性がより問われ、保育の難しさはありますが、保育者も子どもと共に探究していく面白さがあります。子ども達の可能性は私たちの想像をいつも超えてきますから。

箱根の森小学校２年生地域探検 part２

秋に１度園を訪問してくれた２年生。今回は、園児や保育者に質問をもって訪れてくれました。①園児は何人ですか　②先生は何人ですか③いつもどんな遊びをしているんですか④先生になった理由は何ですか⑤どうやって先生になったんですか⑥先生が特にやることは何ですか⑦子どもが帰った後は、どんな仕事をしているんですか⑧お迎えが遅れて、残っている子はどうしていますか。８つの質問を２年生がし、子ども達や保育者が応えました。小学生の姿を見て、話を聞こうとする園児達でした。

そして以前給食体験で５年生と交流した年長児は、お別れ会に向けて考えていると、５年生がしてくれた自分クイズをやってみたいと言い、５年生の教室に指差し棒を借りに行きました。その指差し棒は、５年の担任の先生がずっと大事に使っていたものらしく、年長児もその大事な棒を壊さないように大事に扱っていました。教師間が計画したもの以外にも自然な形でかかわりが増え、就学時にとって憧れや安心感につながればと思っています。



湯本小学校 PTA 広報誌

やまぼうし

令和７年２月発行
発　行：湯本小学校 PTA
（箱根町湯本 399　TEL：0460-85-5414）
児童数：61 名（家庭数：40）
職員数：28 名
編　集：広報・成人教育委員会

親☆子☆活☆動

１年生・3年生
7/3【モルック】

親子で一緒に運動やゲームをしたり、
製作をしたり、楽しい時間をすごしました

２年生
6/6【ミニ黒板作り】

４年生
6/6【写真立て作り】

５年生
11/26【スノードーム作り】

６年生
7/3【わらじ作り】

みんなで楽しく最後までがんばろう!!

10/6(日)

運動会

走り高跳び

100m走

ソフトボール投げ

走り幅跳び

リレー

箱根町　5・6年生

体育大会

10/31(木)

修学旅行

5/26～27(日・月)

いろは坂
華厳の滝
湯滝
竜頭の滝
湯ノ湖
日光東照宮
二荒山神社
輪王寺

給食試食会

6/13(木)

メニュー

足柄茶揚げパン・ポークビーンズ
ジャコとキャベツの炒め物・牛乳

昇降口「下足箱広～い」

放送室

ここは何かな～？

家庭教育講座

災害が起きる前にできること
～減災への取り組み～

工事件名	
工事場所	湯本小学校 長寿命化改良工事
施工者	

編集後記

今号は、写真を多く掲載しました。様々な活動を目で楽しんでいただければと思います。
この広報誌が皆さまのご家庭での話題作りになれば幸いです。
1年間ありがとうございました。